

令和6年度



緑風

狭山台小学校だより第11号

令和7年3月3日

児童数 388人

◎ かしこく やさしく たくましく

待ち望む 春の到来

日に日に暖かさが増し、校庭の木々の芽も段々とふくらんできました。春の到来を告げる、梅の花が美しく咲き始めています。いよいよ3月、令和6年度も最終月となり、1年間の締めくくりの月を迎えました。

3月5日は、二十四節気のひとつ、「啓蟄（けいちつ）」です。“啓虫（すごもりむし）戸を啓（ひら）く頃”と言われ、土の中で冬眠をしていた虫たちが、陽気に誘われるようにして姿を現す日とされています。この時季になると、太陽の南中高度は冬至の頃と比べて高くなり、それに伴い日中の気温が上がって暖かくなります。私達が待ち望む“希望の春”は、すぐそこまで、やってきています。

3学期が始まってから、早2ヶ月が過ぎました。学校では今、新しい学年に向かって、今年度の総まとめに取り組んでいるところです。学習や運動、行事等を通して友達とかかわり合い、学び合いながら、充実した学校生活を過ごす子供たちの姿が、たくさん見られています。

さて、お子さんの学校やご家庭での1年間の成長ぶりはいかがだったでしょうか。身長や体重のように目に見えて感じられる成長は、もちろん大きかったと思いますが、1年前の4月を思い起こせば「できるようになったこと」「伸びたところ」がたくさんあることに気づかれるのではないかと思います。

新しい学年を間近にしたこの時期は、学校でも一人一人の子供の成長を見つめるとても大切な時期であります。進級・進学を機に、お子さんの成長を次への更なる成長へ繋げていくためにも、ぜひご家庭でもこの1年を振り返ってみていただければと思います。私達はこれからも、保護者の皆様や地域の皆様と一緒に考え、子供たちの成長を共に喜び合えるよう、より一層一人一人が成長できる教育を進めていきたいと考えています。

今年度、保護者・地域の皆様には本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、狭山台小の子供たちの健やかな成長を支えていただきましたことに感謝を申し上げます。

春の訪れとともに新しい年度が始まりますが、今後ともどうぞよろしく願いいたします。1年間、ありがとうございました。



◆後期アンケートの結果から

1月に実施しました保護者アンケートの結果が出ましたので、お知らせします。保護者の皆様にはアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

どの項目についても保護者から高い評価をいただきました。課題としては、前期同様、「丁寧な文字」「進んで家庭学習」などがあげられます。これらを重点に引き続き指導に力を入れてまいります。

◆記述より

「2 丁寧な文字」

○家での宿題や学習中も下敷きを使う習慣ができています。

○「字が丁寧！」とほめられることが嬉しいようで丁寧に書くことに努めています。

「3 進んで家庭学習」

○毎日宿題として、自主学習がでているため、自ら学びたい事を考え取り組む姿勢が身につけてきました。

○親が丸付けをすることで苦手が把握でき、宿題を通して親子のコミュニケーションがとれました。

「4 わかりやすい授業」

○わかりやすく楽しい授業で先生が一人一人にしっかり目を向けてくださっていると感じました。

○懇談会、授業参観に参加して、わかりやすく丁寧に伝えていることがわかり、感謝しています。

「5 学習内容の定着」

○かけ算九九の取組では、繰り返しテストできる体制が整っており、しっかり身につけています。

「6 挨拶」

▼挨拶が苦手なのか、自分から挨拶することがあまりありません。親が率先して挨拶をするようにしており、それを手本にしてくれればと思っています。

⇒ 大人が率先垂範したり、挨拶運動などを継続して行ったりすることで、挨拶の大切さを実感させます。「明るく」「いつも」「先に」「続けて」挨拶ができるようになるとよいと思います。

「7 優しい言葉づかい」

▼家族や友達相手に、たまに攻撃的な言葉遣いをしています。周囲の友達も同様の言葉遣いをしているのを見かけることがあり、相手を思いやる言動を意識づける指導をお願いしたいです。

⇒ ふわふわ言葉を意識させ、自分も相手も大切にできる児童を育てていきます。ご家庭のご協力もお願いします。

「9 学校が楽しい」

○自分の子とお友達も楽しい雰囲気に登校している姿を見て、安心して過ごせる場所なのだと感じます。

○担任の熱意が子供たちに伝わり、まとまりがよく、楽しく過ごせていることに感謝です。

○よく学校での楽しい会話を聞かせてくれます。担任の先生のあたたかな学級づくりのおかげと思っています。

▼同級生からの声かけで、傷つくこともあります。

⇒ 「笑顔いっぱい 豊かな心 よさが輝く 楽しい学校」を目指し、一人一人に寄り添って対応します。

「10 安心な学級」

○子供が度々「(来年度も)ずっとこのままのクラスがいい」と言うくらいお友達や先生方との時間を楽しみ、成長している様子を日々感じています。

○個人面談で先生とお話しさせていただいて、子供のことをよく見てくださっているという印象を受けました。また息子が担任の先生が大好きで困ったことがあると話を聞いて解決に尽力してくださると話してくれます。

▼嫌なことをしてくる子がいると伺っているので、改善されることを期待しています。

▼手がすぐに出てしまう子や言葉がきつい子など、先生が知らない所で行うのかもしれないが、対処されていないように感じます。

⇒ いじめ防止を目指す取組として、「さやまっ子の誓い」が制定されています。この誓いに従って、「さわやかあいさつ・やさしい言葉・まじめな行動・だれもが大事・いつも元気」という狭山台の頭文字を取った合言葉をもとに、児童会を中心にさまざまな活動に取り組んでいます。また、何か気になることがある時には、担任以外にも相談することができるようさやまっ子相談員やスクールカウンセラーが配置されています。

「11 諦めず最後まで取り組む」

○学校での指導や努力することの大切さを教えていただけているおかげで、テスト前や行事前に目標を持って取り組む姿が見られ、大変嬉しく思います。

「12 進んで運動」

○学校で運動に積極的に取り組める工夫（縄跳びカードなど）をしてくれているので、インドアな我が子も楽しんで運動に取り組んでいます。

「13 早寝早起き朝ご飯」

○寝坊することもなく、通学班の集合時間も守れています。

○家族の中でも早起きしていてそれに伴い自然と早寝の習慣が身についてきました。

「14 安全な歩行・自転車乗車」

○交通安全教室のおかげで、普段歩行や自転車に乗る時もちゃんとルールを守っています。

「15 体力向上のための環境づくり」

○冬は自主的に外で運動しないので、学校でのマラソンがとても助かっています。

「17 公開・広報」

○学校日より、学年日より写真も載せてくれているので文章だけより伝わりやすく良いと思います。

○先生の思いや考え、学級便りを通じてよく伝わります。子供とも学校のことをたくさん話せるようになって大変感謝しています。

○毎月の行事予定のお手紙の”下校時間”がひと目でわかるのでありがたいです。

▼授業参観→懇談会になると参加人数がとても減るので、子供同席のまま懇談会にはできないでしょうか？普段の生活の話など、ほめられて子供も喜ぶと思います。保護者の皆様にも先生からの話を聞いていただきたいなと思いました。授業参観（+学校生活について）など…堅苦しい感じがでない方がよいのかなと思いました。

⇒ ご多用の中とは思いますが、懇談会にできるだけ多くの保護者の方に参加していただきたいと思っています。学校の様子や方針等を伝え、学校と家庭が同じ方向を向いて、子供たちの成長を支えていくことが大切だと思います。内容や場所、下校のことを考えると子供同席は難しい面もあるかと思いますが、進め方等を工夫していきたいと思っています。具体的な提案をありがとうございました。

▼学校公開の機会が少なく、何をしているかわかりません。

⇒ 授業参観、第2土曜日（5・11月）の学校公開の他に、行事・外部講師を招いた授業・体験授業等を公開しています。また、教育活動の様子、児童の活動や頑張りの様子を便りに写真掲載し、学校の様子を伝えられるよう努めていきます。

「18 相談しやすい環境」

○先生の方から声をかけてくれたり、いつでも相談できるよう気にかけてくれたりして、ありがたく思っています。

○担任の先生に相談をしたことで、子供ともう一度話し合い納得することができました。

○子供の気持ちを汲み取った対策・対応を講じていただき感謝しております。

「19 保護者・地域との連携」

○台小マルシェやまつりなど地域の方や大人とも関わる行事を行っている点から、連携していると思います。

○通学時の見守りや行事などで地域との繋がりの強さを感じます。

▼学童と学校のつながりをよくしてほしいです。

⇒ 学童と連絡を取りながら、連携を深めていきます。

「その他」

○間違っている漢字などを担任の先生にきちんと訂正していただけているおかげで、正しく書くことが身についてきたと思います。

○学校生活で、よくできた所をほめてくれて、直さなくてはいけない所はきちんと教えていただいています。

▼一学校が決められることではないですが、クラスの人数と教師の数を見直してほしいです。特に低学年は、少人数クラスにして、しっかり目が行き届いたらよいのにとおもいます。

⇒ クラスの人数と教師の数については学校で決められませんが、一人一人に目を向けられるよう努めていきます。（数年前より、1クラスの定員上限35人と定められています。）

▼出欠席などを市内他校のように電子化していただきたいです。

⇒ 連絡帳・ケースを通して、欠席をした子にクラスの子がお休みカードを渡したり、学校からの便り・課題を渡したりしています。欠席時は通学班の児童に連絡帳を渡すことで、班員にも伝わります。休んでも学校・子・保護者とのつながりを大切にしています。電子化することにより、担任と保護者、地域の保護者同士の関係のつながりが薄くなってしまわないかという心配もあります。電子化によるメリット・デメリットを踏まえ、考えていきます。

◎他にも様々なご意見をいただきました。記述欄にご記入いただいたご意見につきましては、全教職員で情報を共有しました。改善策を検討・実施してまいります。引き続き、ご理解ご協力をお願いします。

2月の狭山台小学校

3月の生活目標
学校をきれいにしよう



学校研究発表
2月12日に算数科の研究発表を行いました。算数を学ぶことの楽しさやよさを実感できる授業づくりを目指し研究を進めてきました。今後の授業に生かしていきます。

感謝の会・6年生を送る会
感謝の会では、日頃お世話になっている学校応援団の皆様
に感謝の気持ちを伝えました。その後の6年生を送る会では、
「中心に立ってくれた6年生に感謝の気持ちを届けよう」と、どの
学年も心のこもった素敵な発表を行いました。



ありがとう

